



## 教官の公募について

このたび、東京大学海洋研究所では下記の要領で教官（助教授）を公募いたします。御希望される方は連絡願います。

### 記

1. 採用人員 海洋気象部門 助教授 1名
2. 海洋気象部門の研究内容

当部門は、大気と海洋の相互作用に関係するさまざまな大気・海洋現象のメカニズムの解明を目的としています。現在、寒気団の気団変質過程、海洋上で発達するメソスケールの気象擾乱、集中豪雨、ヤマセ、人工衛星データを利用した大気海洋熱交換過程の研究などを行っております。今後は、このような研究に加えて、大気を海洋の上部境界として扱い、海洋混合層のメカニズムなど大気が海洋に与えるさまざまな影響に関する研究も行っていきたいと思っております。

この度の公募では、単なる気象現象だけでなく海洋内部の現象にも関心をもち、大気と海洋の相互作用を広い立場から研究することに意欲を持つ方を希望いたします。また、本学の理学系研究科の課程教官として、大学院教育にも携っていただきます。

### 3. 提出書類

- 1) 履歴書
- 2) 研究業績目録（原著論文、総説、その他）
- 3) 主要論文5編の別刷（又はコピー）各1部
- 4) これまで行ってきた研究の概要と今後の研究に対する抱負（1200字程度）
- 5) 推薦書1通又は応募者について参考意見を述べることのできる人（2名）の氏名及び連絡先。

### 4. 公募期限 平成7年1月17日（火）必着

### 5. 提出書類送付先（簡易書留で送付のこと）

〒164 東京都中野区南台1-15-1

東大海洋研究所

所長 平野哲也

### 6. 海洋気象部門の職員構成

教授	木村龍治	助教授	（本公募）
助手	中村晃三	助手	坪木和久
技術官	石川浩治	技術官	三沢信彦

### 問い合わせ先

Tel : 03-5351-6426（木村）

**編集後記：**ここ数年、夏休みは大学の野外実験で環八雲の観測をしています。環八雲は目で見えるので、その発生から消滅までを観察しながら観測できます。30名くらいの学生と共に代々木のオリンピック記念青少年総合センターに宿泊しました。今年は新館に泊まりましたが、一泊1100円はありがたかったです。複数の大学、研究機関の協力を得て、ボランティアで測器をもちより世田谷区、江東区、八王子でネットワーク観測をしました。

今年は猛暑となり、海陸風が発達して、午後には環八雲がしばしば出現しました。はじめて、ライダースで環八雲をとらえることができました。またレンタルでオメガゾンデ（パイサラ社）を使用しました。データ取得部がウィンドウズの使えるパソコンなので、観測

しながら、気温、湿度のプロファイルのほか風のプロファイルも同時に見ることができます。これは画期的なことだと思いました。いくつかオープンした画面を同時に見ることにより、たとえば、気球が今、混合層の中にあるとか、雲の中を通過中であるとかが瞬時にわかります。

この観測を実施するためには、宿泊施設の確保、航空局、電波監理局、大学等への申請書作成などのマネージメントがあり、準備に半年かかります。毎年続いているのは、気象現象を自分の目で見て、肌で感じるのが楽しいからです。そういえば、昨年8月上旬は、都心で北風が吹いていたなあ。

（甲斐 憲次）